

令和 5 年度 第 1 回 (仮称) 図書館中部館建築設計検討委員会  
ふりかえり

- (1) (仮称) 図書館中部館整備工事基本設計委託業務委託候補者選定公募型プロポーザルの実施結果について

・意見、質問なし

- (2) 今後のスケジュールについて

**意見 1** プロポーザル時の提案では、ワークショップとして全 5 回開催となっているが、これだけの市民が期待する地域館ですので、5 回の中身が必ず入るようにしていただきたい。

**回答 1** 本検討委員会を 4 回開催し、その中でうまく振り分けて実施します。回数より密度でしっかりと議論を進めていきたい。

- (3) 平面計画等に係る意見聴取等について

**意見 2** 2 階の平面プランについて、コストのことを考えると A 案、使用勝手を考えると B 案であるが、公園から体育館、そして今回の図書館、そしてくすのき通り側へもキッズコーナー、おはなしの部屋が見えてくるところもあるので、コストの件はあるものの、B 案の方がよい。

**対応 2** 今回、B 案をもとに、委員の皆様や職員（司書）から伺いましたご意見等を反映した平面計画を提案しています。

**質問 3** (仮称) 図書館中部館（以下「中部館」）について、どの程度の利用を見込んでおられるか？

**回答 3** 中部館を整備することで、本市では 2 館体制となります。また、中部館は、本市のほぼ中央部に位置し、南部の方にとっては、今以上に近くなり、ご利用しやすくなることから、現在の貸出冊数約 50 万冊、利用者数約 10 万人を超える可能性があると考えています。

**質問 4** プロポーザル時に、木製ルーバーは、外光を制御する役割を持っており、コンピューターで計算しているという説明であったが、今後、さらに検討する予定はあるのか？

**回答 4** 精度を上げて、検討する予定をしています。

**質問 5** プロポーザル時は、くすのき通り側（の出入口）を「サブエントランス」と位置付けていたが、今日の提案では「通用口」に変わっているが、何か位置付けが変わったのか？

**回答 5** 機能を整理していく中で、職員ゾーンをくすのき通り側に集約し、くすのき通り側の出入口を「職員専用」にしました。

**質問 6** 既存建物の外壁について、修繕する予定はあるのか？

**回答 6** 何ができるか、検討している段階です。

**質問 7** 図書館というところは、大勢の方が集まる場所であり、それだけではなく、本という、大変重量のあるものが置かれるということで、その安全性は、どのようになっているのか？

**回答 7** その辺は、十分留意して設計します。

**質問 8** (くすのき通り側の) 駐車場からメイン出入口までのアプローチを考えると、底でつなげる必要があると思うが、意匠的に可能なのか？

**回答 8** 交流ストリート自体に賑わいが出てくれば、底ではなくてもよいと思います。

**意見 9** 駐車場側のブックポストについて、相当の量が入ってくることになるので、職員が処理しやすい動線を考える必要がある。

**対応 9** 今回、職員の処理しやすい動線を考えますと、駐車場側にブックポストを設けることは難しいと判断し、事務室作業場に近く、職員が処理しやすいメインエントランス隣の外壁に設ける提案をしています。

**意見 10** 物流スペースについて、将来的に、ある程度、広いスペースを確保し、事務室に近い方がよい。

**対応 10** 今回、将来を見据えた物流スペースの広さや事務室、閉架書庫からの距離など、職員(司書)から伺いましたご意見等を反映した平面計画を提案しています。

**意見 11** 駐車場について、今後、利用状況を見て、ある程度、将来的に見越しておいた方がよい。

**対応 11** 先にオープンしたプロシード・アリーナ(彦根市スポーツ・文化交流センター)は、現在、駐車場を拡張していますので、拡張後の利用状況を見ながら、今後、検討したいと考えます。

**質問 12** 駐車場は有料か？

**回答 12** まだ、そこまでの検討には至っていません。

**質問 13** 増築部分の木造構造体について、CLT材を使ったルーバー柱とか、ハニカムビームとかは、日本初ですか？

**回答 13** 日本初、世界初です。

**質問 14** 実現に向けて、ハードルはあるのか？

**回答 14** CLT材をつくる会社が限られていることと、(CLT材の)接合方法をどうするかが課題です。

質問 1 5 一般開架室で何か聞きたくなかった時に、(一般開架室内に) カウンターがないが、本当にそれでよいのか？

対応 1 5 以前、現図書館において、一般開架室の隅からカウンターまで距離があるため、一般開架室内にカウンターの設置を検討しましたが、職員を常駐することが難しいとの結論に至り、また現図書館でも設置していないことから、今回も同様の理由により、設置は難しいと考えます。

質問 1 6 閲覧等の座席数について、今のところ、どのように考えているか？

回答 1 6 色々なタイプの座席があればよいと思っているが、これから職員(司書)からお話を伺いながら、今後、検討したいと考えます。

質問 1 7 (メイン出入口について) 駐車場からグルッと回らないといけないのは、不便さを感じる。

回答 1 7 駐車場側に出入口を設けるのは、プラン的に見て難しいと思う。

意見 1 8 おはなしの部屋について、縦長ですと後ろの子どもたちが集中できないので、正方形で、今の図書館の第1集会室程度の広さはほしい。あと、床はカーペット敷きが望ましい。

対応 1 8 今回、形状については、正方形に近い形状を提案しています。また、広さについては、朗読会などの参加者として、20人程度と伺いましたので、その人数に適した広さを提案しています。なお、床の仕上げについては、カーペット敷を提案しています。

意見 1 9 プロシード・アリーナの駐車場について、イベントがあった際、現在の駐車台数では不足しますので、どうしても溢れた車は図書館の駐車場に停めることになり、図書館利用者が停められなくなってしまうという課題がでてきますので、認識した上で設計を進めていただきたい。

対応 1 9 図書館駐車場の利用については、図書館利用者限定する手法等がないか、今後、検討したいと考えます。

意見 2 0 駐車場からメイン出入口へいかにスムーズに誘導できるか、工夫していただきたい。

対応 2 0 今回、駐車場から建物東側を通過して、容易にアクセスできるエントランスを新設し、スムーズに誘導できる平面計画を提案しています。

意見 2 1 CLT材について、積極的に琵琶湖産の木材を使っていくという動きもあり、また、滋賀県からの補助もありますので、検討していただきたい。

対応 2 1 CLT材と併せて、書架やカウンターなどにも琵琶湖材を積極的に利用したいと考えます。

質問 2 2 増築部分の木造について、耐火建築物にする必要があるが、大臣認定

工法を活用されるのか、今の時点で、どのような考え方をしているのか？

**回答 2 2** 昭和 2 6 年の通達を適用できないかと思っています。

**意見 2 3** 特定行政庁ほか関係部署と十分協議しながら進めていただきたい。

**対応 2 3** 去る 1 2 月 7 日（木）に、彦根市建築指導課との協議の中で、昭和 2 6 年の通達を適用した当社における他市の事例を説明しました。今後、彦根市建築指導課から滋賀県内の特定行政庁（滋賀県、大津市、草津市など）に照会を行い、その結果を踏まえ、判断していただくことになりました。

**意見 2 4** 管理者と利用者の動線を十分考慮しつつ、機能的な各諸室の配置となることを優先して考えていただきたい。

**対応 2 4** 引き続き、委員の皆様と職員（司書）からいただきましたご意見等を反映しながら、平面計画を検討したいと考えます。

**意見 2 5** 2 階の児童スペースへのアプローチについて、「そこへ行きたい」という思いをつくれるような工夫が必要である。

**対応 2 5** 今回、2 階に上がる階段の位置をエントランス近くに配置するとともに、エレベーター出入口の方向もエントランスに向ける平面計画を提案しています。

**意見 2 6** ゾーニングとして、静かな所、中間的な所、ざわつきのある所と分けることができればと思います。

**対応 2 6** 静かな所（一般開架室）、中間的な所（閲覧コーナー、児童開架スペース）、ざわつきのある所（閲覧ラウンジ）というような平面計画を提案しています。

**意見 2 7** 2 階の児童開架スペース（きのこの形をした部分）は、家族で利用できるスペースにしていただきたい。

**対応 2 7** 今回、親子ラウンジとして、家族で使う空間を提案しました。

**意見 2 8** 動線が休憩コーナーで完結してしまうので、一般開架室や 2 階の児童開架室へどのように誘導するか、検討する必要がある。

**対応 2 8** 今回、メインカウンター・レファレンスカウンターを L 字型に設置し、利用者の動線を自然に一般開架室の入口へと誘導するような平面計画を提案しています。また、2 階に上がる階段の位置をエントランス近くに配置するとともに、エレベーター出入口の方向もエントランスに向ける平面計画を提案しています。

**意見 2 9** 一般開架室が書庫のような感じがする。

**対応 2 9** 今回、一般開架室の書架は、5 段の高さの書架を中心に計画し、見通

しを考慮した平面計画を提案しています。

また、一般開架室内は書架だけが並ぶのではなく、適度に閲覧席やスツールを配置し、一般開架室内で静かに本を読むスペースを設け、空間に緩急や多様性を持たせる工夫をした平面計画を提案しています。

**意見30** レファレンスカウンターが随分離れたところにあるので、一般開架室内にレファレンスカウンターやサービスカウンターを設置していただきたい。

**対応30** 以前、現図書館において、一般開架室の隅からカウンターまで距離があるため、一般開架室内にカウンターの設置を検討しましたが、職員を常駐することが難しいとの結論に至り、また現図書館でも設置していないことから、今回も同様の理由により、設置は難しいと考えます。